



佐野文夫展示作品一覧

- <彫刻>
- 「蝶」FRP
- 「ひととき」石膏原型
- 「やすらぎの像」エスキース
- 「腰をかけた裸婦」FRP
- 「母子像I」石膏原型
- 「母子像II」石膏原型
- 「座る」石膏原型
- 「若わし」ブロンズ
- 「太陽の子」石膏原型
- 「弾く」テラコッタ
- 「力士」石膏原型
- 「裸婦I」石膏原型
- 「脱」石膏原型
- 「ビーチの女」石膏原型
- 「望」ブロンズ
- 「K子像」石膏原型
- 「春」石膏原型
- 「聖観音像」石膏原型
- 「GUGON」石膏原型 他

- <レリーフ>
- 「リズム」テラコッタ
- 「風の神」テラコッタ
- 「風の子」テラコッタ
- 「浜辺の女」テラコッタ
- 「美神」テラコッタ
- 「レダ」ブロンズ彩色
- 「殉教」ブロンズ彩色
- 「レダ」ブロンズ彩色
- 「ケンタウルス」ブロンズ彩色
- 「森の中のレダ」石膏彩色
- 「殉教」石膏彩色 他

- <色紙>裸婦
- <油絵>海辺
- <絵手紙>十二支
- <デッサン>4枚所 他

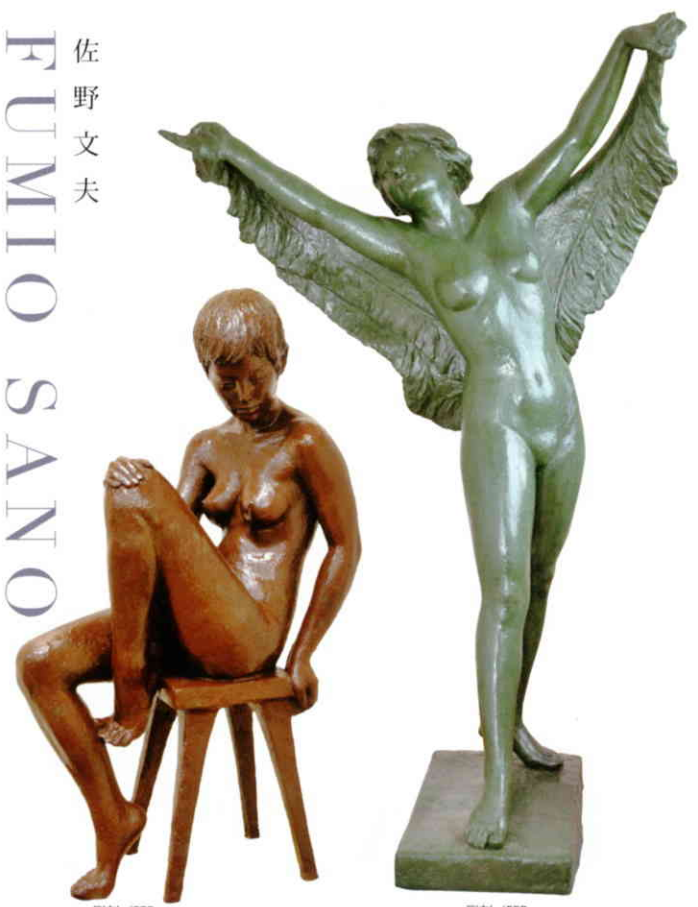


石膏原型/石膏
「ひととき」



デッサン画

佐野文夫
FUMIO SANO



彫刻/FEP
「腰をかけた裸婦」

彫刻/FEP
「蝶」



レリーフ
「風の神」テラコッタ



レリーフ
「浜辺の女」テラコッタ



絵手紙「十二支」



映画公開時のパンフレット

高羽氏使用の映画脚本
脚本にはご本人直筆の書き入れがあります。



「男はつらいよ」の当時の
映画ポスターを展示

高羽哲夫
TETSUO TAKA



高羽氏使用の衣類他
映画の撮影時に使用した
ジャンパーやシャツなどを展示



佐野文夫
プロフィール
FUMIO SANŌ
Profile

- 1918年(大正7年) 河沼郡勝常村(現・湯川村)生まれ
- 1936年(昭和11年) 福島県立会津中学校卒業(現・会津高等学校)
- 1941年(昭和16年) 東京美術学校卒業(現・東京芸術大学)正木賞受賞
- 1942年～1946年(昭和17年～21年) 応召(南支那方面)
- 1949年(昭和24年) 清水多嘉示に師事
- 1950年～1953年(昭和25年～28年) 日展入選、福島県展知事賞3回受賞
- 1954年(昭和29年) 日展と決別、自由美術展に3回入選
- 1956年(昭和31年) 自由美術協会会員となる
- 1957年～(昭和32年～) 自由美術展、福島県展、埼玉県展等毎年作品を発表自由美術協会会員、日本美術家連盟会員、福島県展審査員、同運営委員埼玉県展審査員、会津俊英展・風121展運営委員、湯川村名誉村民
- 2002年(平成14年) 9月逝去 享年84歳



高羽哲夫
プロフィール
TETSUO TAKAHA
Profile

- 1926年(大正15年) 河沼郡笈川村(現・湯川村)生まれ
- 1945年(昭和20年) 福島県立会津中学校卒業(現・会津高等学校)
- 1948年(昭和23年) 現・大学法人山形大学工学部卒業後松竹大船撮影所撮影部に入社
- 1964年(昭和39年) 山田洋次監督の映画『馬鹿まるだし』で撮影監督としてデビュー
- 1991年(平成3年) 『息子』で日本映画技術賞、毎日映画コンクール撮影賞、日本映画アカデミー優秀賞受賞
- 1992年(平成4年) 紫綬褒章受賞
- 1993年(平成5年) 『学校』で日本映画技術賞、日本映画アカデミー優秀賞受賞
- 1995年(平成7年) 10月31日逝去、勲四等旭日小授賞受賞
- 1996年(平成8年) エランドール・毎日映画コンクール・日本映画アカデミー協会会長各特別賞受賞

高羽哲夫展示遺品紹介
「男はつらいよ」を始めとする高羽氏使用の脚本、映画ポスター、撮影アルバム、映画パンフレット、大入り袋、ご本人使用の衣類、小物などが展示。



北田城絵図



北田城跡出土品/村指定文化財



浄法寺 石製の礫石経塚/村指定文化財



四耳長壺/村指定文化財



文化財展示コーナー

北田城跡出土品の杯・甕・土師器・須恵器をはじめ、絵図、浄法寺境内の石製経塚の中にあつた礫石、復元した縄文土器などを展示。

湯川村展示文化財コーナー



地域活性化施設 湯川たから館

〒969-3556 福島県河沼郡湯川村大字勝常字堂後830番地
TEL0241-27-8484 FAX0241-27-3992(湯川村商工会)

発行 湯川村 〒969-3593 福島県河沼郡湯川村大字笈川字長瀬甲875番地5
TEL0241-27-8800 FAX0241-27-3760

地域活性化施設

湯川たから館

佐野文夫遺作品・高羽哲夫遺品展示

湯川村名誉村民の彫刻家佐野文夫氏の遺作品、
『男はつらいよ』シリーズの撮影監督高羽哲夫氏の遺品、
村内で出土した土器などの文化財を展示しています。
まさに湯川村の「たから」が展示してあります。



※時期により一部展示内容が変更となる場合があります。